

葛飾区南北交通検討調査概要

- ◎ 全線において、複線・高架化で検討を実施。
- ・ 事業費：930億円（工事費430億円、用地補償費500億円）
- ・ 需要予測：30200人/日（パーソントリップ調査などから）
- ・ 事業採算性：相当の収支改善策（駅整備費の負担・新金線用地費減免・沿道開発による需要増加など）を実施しない限り、黒字転換しない。

新金貨物線旅客化に関わる技術的検討調査

- ◎ 施設整備コストの縮減（平面・単線を基本）
- ◎ 既存列車運行との整合（貨物の運行に影響を与えない）
- ◎ 運行コストの最小化（在来型鉄道車両を前提（LRTは課題の整理））
- ・ 踏切への影響や貨物への影響を配慮した場合の運行本数 ⁷²55本／日（時間³1～3本）
- ※ この場合でも踏切遮断交通量が52479台・時／日
- ・ 事業費：58億円